

石川中学校 校歌 (1958年制定)

一、東の空は澄みわたり

はるかに仰ぐ恩納岳

ゆるがぬ姿永久に

我が学舎はそびえ立つ

朝夕にいそしみて

高き理想は火と燃えん

学ぶぞ、我等石川中校

二、潮の香りただよいて

生気みなぎるその中に

共に手を取り励まして

自由と自治の帆をかざし

世紀の波路漕ぎいでて

強く雄々しくのり越えん

学ぶぞ、我等石川中校

三、古城のもとにこだまする

若き生命の雄叫びは

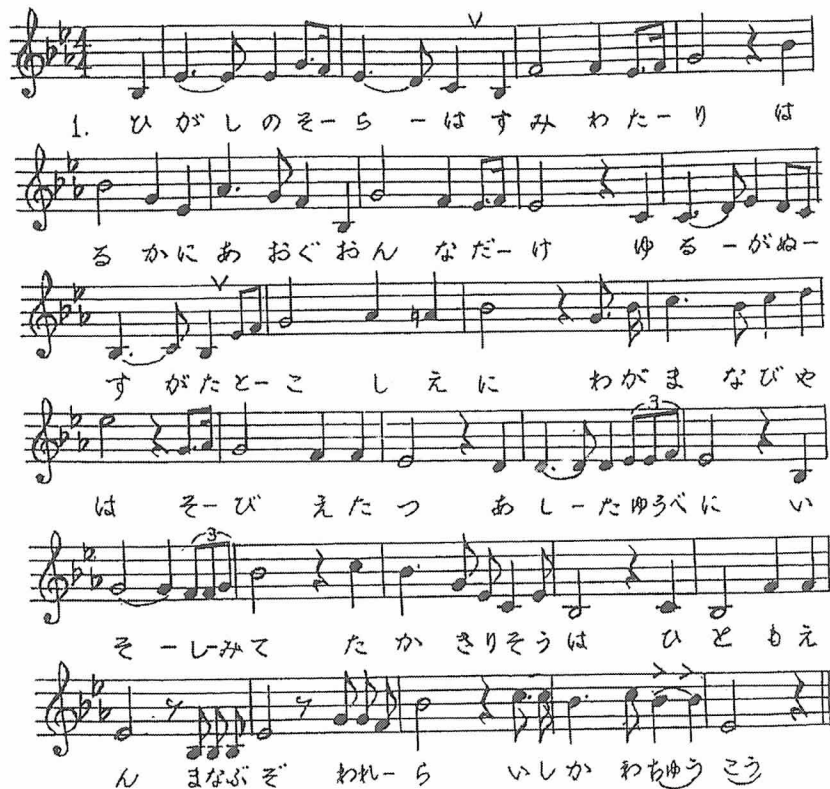
文化の故郷に建設の

平和の鐘の響きなり

愛と正義を胸に秘め

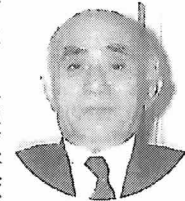
清き伝統打ちたてん

学ぶぞ、我等石川中校



作曲 屋嘉宗克氏

略歴



那覇市の生まれ。沖縄国際大学名誉教授、日本歌謡学会会員。一九四九年に石川高等学校教諭を勤める。石川中学校の十周年を記念して一般公募された「校歌」に作詩の部で応募、見事採用される。他に「祖国復帰の歌」「コザ中学校校歌」「子どもを守ろうの歌」「北美小学校校歌」「沖縄市市歌」「沖縄国際大学校歌」など数多くの作詞を手がけた。

作曲 中山興真氏

略歴



宜野座村の生まれ。一九二七年沖縄県師範学校専攻科卒業。宜野座村小学校訓導を振り出しに、沖縄県女子師範学校付属小学校訓導、同付属国民学校教頭、美里村伊波国民学校校長を歴任。一九五二年には琉球政府文教局指導課長、一九五七年には同学校教育課長を勤める。